

ハイブリッドサインシステム取扱い上のご注意

このたびは、弊社製品をご導入いただき、まことにありがとうございます。設置・運用開始の前に説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

◆本システムの標準使用状態

- ① 周囲温度が最高 40℃、最低 -20℃の範囲を超えないこと。
- ② 設置場所は標高 1000m以下であること。

◆取扱い上のご注意

- ① 分解、改造、修理をしないでください。(※1)
- ② コントロールボックスを開けないでください。(※1)
- ③ ソーラーパネル裏面を傷つけないでください。(※1)
(※1 火災、感電、けがの原因となります。)
⇒ 必要と思われた際には、代理店もしくは施工業者までご連絡ください。
- ④ 人為的に集中した光をソーラーパネルに当てないでください。
(故障、火災のおそれがあります。)

◆設置場所の選定に際してのご注意

- ① ソーラーパネルに直接日照が取れる南向きの場所を選定してください。
- ② ソーラーパネルに日照を取る際に、障害物(※建物、樹木など)がないことを確認してください。
(特に 10 時～ 15 時の間にソーラーパネルに影なく日照の取れる場所を選定してください。)
- ③ 太陽光の強い日中にソーラーパネルの一部分が影にならないようにご注意ください。

◆設置・施工に際してのご注意

- ① 設置方法については、自立ポールによる設置を推奨します。
- ② 各ユニットの接続は、それぞれを所定の位置に固定してから行ってください。
- ③ 各ユニットの接続は、下記の順番で接続してください。(※取扱い時には感電に十分ご注意ください。)
STEP 1……バッテリーのコネクターを接続します。
STEP 2……発光パネルの端子を端子台に接続します。
STEP 3……ソーラーユニットの端子を端子台に接続します。
(※ソーラーモジュールに太陽光やその他の光をあてると、電気が発生します。作業時にはソーラーパネルの受光面を被覆して作業を行ってください。)
- ③ ソーラーパネルの設置角度は発電効率の良い角度に調整設置した上で運用してください。
(※設置角度の調整には『角度別・月別斜面日射量表』を参照してください。)
- ④ 設置予定場所において、どうしても南向きの直接日照が取れない場合には、延長用ケーブルセット(※別売)にてソーラーユニットだけを別場所に設置することも可能です。
(導入時に代理店にご相談ください。)
(ビルの壁面などの反射や、物陰などにより、標準の設置方向・傾斜角が最適でない場合があります。)

◆運用に際してのご注意

- ① ソーラーパネル上に積雪や汚れの付着等があると、カタログスペック通りの性能を発揮できない場合がありますのでご注意ください。ソーラーパネル、表示部の汚れは除去することにより本来の性能を維持できます
空拭きにて除去できない著しい汚れについては代理店にご相談ください。
- ② 台風シーズンの前後や、地震、強風の後には、ソーラー部などの固定ネジにゆるみや異常がないか確認してください。
- ③ ソーラーパネルに 10 時～ 15 時の間に直接日照が当たらなくなると、夜間にサインパネルが点灯しなくなる場合がありますので、運用環境にもご注意ください。

◆製品に関してのご注意

- ① バッテリーは5年以上（※期待値）の長寿命バッテリーを使用していますが、設置環境によっては早期に性能低下する場合があります、曇天下における連続点灯日数が短くなる場合がありますのでご了承ください。
（連続点灯日数が著しく短くなったと感じられた場合には代理店にご連絡ください。）

◆免責事項

本システムは、ソーラー独立型モジュールとして十分満足しうる品質を備えていますが、正しい施工（標準施工）と適切な維持管理がなされていることによってはじめて発電性能や耐久性、耐候性、その他諸機能が発揮されるものです。正しい施工と適切な維持管理を実施していただいた上で運用してください。

なお、万一本システムに不具合が生じた場合は、下記の免責事項をふまえた上で、代理店までご相談ください。

- ① 施工説明書に記載された事項に反する立地条件・設計がなされた場合。
- ② 当社標準施工を導入せず、施工により不具合が生じた場合。
- ③ 使用者の不適切な維持管理、改造又は使用上の誤りにより不具合が生じた場合。
- ④ 使用者又は第三者の故意又は過失により不具合が生じた場合。
- ⑤ 不適切な修理又は移設、運搬により故障又は損傷した場合。
- ⑥ 初期の損傷を発見後、速やかに届け出がなされなかった場合。
- ⑦ 飛来物（瓦、看板、ボール、火砕物、隕石等）により損傷した場合。
- ⑧ ネズミなどの小動物の害に起因する損傷、機能不良が生じた場合。
- ⑨ 建物構造の変形、変位などによって不具合が生じた場合。
- ⑩ 自然災害（火災、風水害、地震、落雷、台風、噴火、津波、雪害、降雹等）、周辺環境（塩害、温泉場、強酸、強アルカリ、特殊ガス、高熱を発する環境）、公害（煤煙、鳥糞等）などにより不具合が生じた場合。
- ⑪ 自然特性又は通常の経年変化による金属サビ、磨耗、コケ、藻などの汚れ、変色などが生じた場合。
- ⑫ 契約当時の技術では予想する事ができなかったことが原因により不具合が生じた場合。

※標準施工以外の施工によるクレームが発生した場合、当社は責任を負いかねます。